事例No.	1390
公表年度	R3
団体の属性	一般市
団体名	石川県輪島市

事例区分	一般行政

タグ	・新たな政策手法の確立・活用 ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	森林整備

事例内容・タイトル

森林経営管理制度に基づく市町村による間伐の実施

出典

森林環境譲与税の令和２年度取組事例集（令和３年１２月）

石川県　輪島市（森林経営管理制度に基づく市町村による間伐の実施）

➢ 輪島市では、森林所有者の経営意欲の低下や不在地主の増加、所有者不明や境界未確定の森林の存在などにより手入れ不足となっている人工林が多く、森林の有する公益的機能衰退や土砂災害発生の危険性が高まっていることから、森林環境譲与税を財源として、森林経営管理制度に基づく取組を進め、森林整備を推進する方針。

➢ 令和2年度においては、以下の取組を実施した。
- 森林整備箇所の把握のため、市内の私有林人工林28haにおいて、森林所有者への意向調査を実施。
- 前年度及び当年度に経営管理権集積計画を策定した手入れ不足人工林合計27haの間伐を実施。

□ 事業内容

1　森林所有者への意向調査の実施

- 市内の私有林人工林28ha（48筆、44人分）の森林所有者に対し、今後の森林の経営管理の意向を調査。

【事　業　費】4,730 千円（全額譲与税）　　【実　　績】意向調査面積　28 ha

2　計画対象森林の間伐

- 市内の経営管理権集積計画策定済みの私有林人工林27haにおいて、将来的な針広混交林化を目指し、間伐を実施。

【事　業　費】12,188千円（全額譲与税）　　【実　　績】間伐実施面積　27 ha



（事業2：現地調査の様子）



（事業2：間伐後の様子）

□ 事業スキーム

1　森林所有者への意向調査の実施

市 → 委託 → 森林組合 → 調査 → 所有者

2　計画対象森林の間伐

市 → 委託 → 森林組合 → 間伐

□ 工夫・留意した点

- １の事業においては、所有者不在や不明な森林のない地区から試行的に行うことで、今後の意向調査の実施計画の参考とした。
- ２の事業においては、境界が不明確な個所があったため、間伐の施工範囲は境界を侵さないよう余裕をもって設定した。

◇　基礎データ

①令和2年度譲与額	59,928 千円
②私有林人工林面積（※１）	15,354ha
③林野率（※２）	76%
④人口（※３）	27,216 人
⑤林業就業者数（※３）	91人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、
※２：「2015農林業センサス」より、※3：「H27年国勢調査」より